

日本LCA学会研究発表会学生優秀口頭発表審査要項

日本LCA学会研究発表会実行委員会

1. 審査員：各審査対象発表者につき、座長、実行委員、理事、および正会員の中から、本委員会が選定した2名を審査員とする。

2. 審査対象：下記（ア）～（キ）の条件を満たす学生会員の発表である。

（ア）参加登録時に、日本LCA学会の有効な学生会員番号※を有していること。

新規に学生会員になった場合、（エ）の事前参加登録の期日までに年会費の振込が完了していること。

※ 学生会員番号は、入会申込後すぐに発行（メール送信）されます。

入会申込は、「日本LCA学会」ホームページ→「会員募集」をご参照ください。

※ 前年度分までに年会費の未納がある場合は、会員資格が停止している可能性があるため、納付の上、演題・参加登録をしてください。

（イ）締切期日までに演題登録が完了していること。追加登録期間が設けられた場合、追加登録期間中に登録（更新を含む）された演題は審査の対象外とする。

（ウ）演題登録時に学生優秀発表審査へエントリーしていること。

※ 学生優秀発表審査へのエントリーは1人1件です。複数の演題を登録する場合、【いずれか1件のみ】審査希望を選択してください。複数の演題で審査を希望した場合は、正規登録期間内の最終更新日時が最も遅い発表を審査対象とします。

（エ）事前参加登録の期日までに参加登録費の振込が完了していること。

（オ）締切期日までに要旨投稿が完了していること。追加投稿期間が設けられた場合、追加投稿期間中に要旨が投稿（更新を含む）された演題は審査の対象外とする。

（カ）演題登録時と発表時の登壇者が同じであること。

（キ）録画ではなく、リアルタイムでの発表であること（オンライン開催時のみ適用）。

※ ビデオをオンにして、発表者の状況が確認できる状態にしてください。

詳細はフローチャートをご確認ください。

座長は、各セッションの開始前に発表者が本人であることを確認すること。座長が審査員でない場合も確認を行い、演題登録時の発表者と実際の発表者が異なる場合は実行委員会に伝える。

3. **採点**：審査員は別途配布する審査基準に基づき、「分かりやすさ」「スライドの見やすさ・理解しやすさ」「発表時間」「質疑への対応」「論理性」の5項目（審査基準の要点は以下参照のこと）について、それぞれ5段階で評価し、審査用紙に記入する。

①「**分かりやすさ**」

- ・聴講者（あるいは審査員）にとって分かりやすい発表であるか
- ・発表用原稿を棒読みしていないか
- ・内容を十分理解した上での発表になっているか
- ・声の大きさ、聞き取りやすさは問題ないか

②「**スライドの見やすさ・理解しやすさ**」

- ・スライドは、見やすく、かつ簡潔にまとめられているか
- ・スライドは、聴衆を引きつける工夫がされているか

③「**発表時間**」

- ・序論、本論、結論の時間配分は適切か
- ・所定の時間を守っているか（発表全体の印象から良識的に判断される）

④「**質疑への対応**」

- ・質疑に対する応答が適切であるか
- ・発表者が応答すべきところを、共同研究者に助けてもらっていないか
（ただし有意義な議論のための共同研究者の発言はこの限りではない）

⑤「**論理性**」

- ・発表が論理的であるか（筋が通っているか、論理の飛躍がないか）
- ・説明の多寡（一般常識の冗長な説明／専門用語の説明不足）がないか

4. **総合評価・講評**：総合評価欄には採点項目ごとの点数の合計値を記入する。講評欄に印象を記載する。講評欄の内容は、表彰対象者選定の一助とするとともに、表彰時において受賞発表の講評の参考とする。
5. **審査用紙の提出**：審査対象の採点結果は、なるべく発表時間中に記入し、審査員が受け持つ全ての審査対象の発表が終わり次第、直ちに Google フォームで提出する。
6. **表彰対象者**：2名の審査員による総合評価点を集計した結果、審査対象者全員の中で上位2件の発表者を優秀口頭発表表彰対象者とする。同評価点数により表彰対象者が3名以上となった場合は、実行委員会の協議により表彰者を決定することとする。
7. **発表時の注意点**：本年度はオンラインでの開催である。接続トラブル等への対応・救済は基本的に行わないため、発表の配信はインターネット環境の良いところで行うこと。

学生優秀発表のエントリー手順
および審査対象要件

